

関西大学法学研究所刊行案内

雑誌名	ノモス = Nomos
巻	20
ページ	132-149
発行年	2007-06-30
URL	http://hdl.handle.net/10112/12959

関西大学法学研究所『特別行事報告書』刊行案内

国際シンポジウム 法とヨーロッパ統合—21世紀への挑戦— 1992.11.18~20開催

和文版 1993年10月発行
英文版 1994年発行

[基調講演] 司会：楠 貞義

EC統合と日本 ジャン・ピエール・レング
マーストリヒト条約とECの将来 ジャン・ルイ・ドゥヴォスト

[シンポジウム1 ECの政治経済統合] 司会：上林 良一

ヨーロッパ統合のダイナミクスと発展 鴨 武彦
試練に立つEC統合 田中 素香
経済的ヨーロッパと社会的ヨーロッパとの交錯 小野 耕二
脱冷戦下のEC統合 辰巳 浅嗣
マーストリヒト条約における主権と民主的正統性 坂元 茂樹

[シンポジウム2 知的所有権法] 司会：江口 順一

域内市場と知的所有権—著作権及び著作隣接権の分野でのハーモナイゼーション
..... シルケ・フォン・レヴィンスキー
ECにおける著作権法制のハーモナイゼーション 齊藤 博
域内市場と知的所有権—討論のための視点— 野一色 勲
ECにおける著作権法の調和に対する提言
—著作者概念および著作権法と周辺領域との関わりにおいて— 辰巳 直彦

[シンポジウム3 競争法] 司会：根岸 哲

EC競争法の特徴と最近の動向 ジャン・ルイ・ドゥヴォスト
92年統合後のEC競争法の進路—日本からの視点— 滝川 敏明
EC統合とEC競争法の将来 早川眞一郎
EC競争法の運用について—企業からの視点— 宮崎 勇気
最近のEC競争法の運用状況（企業からの視点）
—EC共通自動車政策及び競争政策の動向と日本企業の対応— 熊田 一充

[シンポジウム4 会社法] 司会：岩崎 憲次

EC会社法の現状と課題—国際合併とヨーロッパ株式会社について— ロバート・R.ペニンントン
統一会社法としてのヨーロッパ株式会社 大和 正史
EC会社法の発展と日本の会社法への影響 山下 友信

[シンポジウム5 企業課税法] 司会：吉牟田 勲

ルディング報告とマーストリヒト条約後のECにおける法人所得税の調和
..... フランツ・バニステンデル
ルディング報告の意義—日本のPerspectiveから— 村井 正
EC直接税統合の動向と日本企業—ルディング報告の評価— 古江 誠司
欧州統合と法人所得税の調和—バニステンデル教授の報告によせて— 川端 康之

国際シンポジウム 国際租税秩序の構築

1994.7.27～28開催

和文版 1995年3月発行
英文版 1996年発行

- [シンポジウム1 タックス・トリートイー・オーバーライド] 司会：木村 弘之亮
- タックス・トリートイー・オーバーライド—日本の視点— …………… 村井 正
アメリカにおけるタックス・トリートイー・オーバーライドの問題 …… リチャード・L・ドーンバーク
国際法及び憲法の下でのタックス・トリートイー・オーバーライド
—ドイツの経験— …………… クラウス・フォーゲル
英国及びカナダにおけるタックス・トリートイー・オーバーライド …………… フィリップ・ベーカー
タックス・トリートイー・オーバーライド …………… 谷口勢津夫
タックス・トリートイー・オーバーライドの問題にどのように接近していくか …………… 占部 裕典
- [シンポジウム2 移転価格の紛争解決方式のあり方] 司会：中里 実
- 移転価格税制について—日本の視点— …………… 金子 宏
移転価格税制と新しい国際租税秩序 …………… シャリー・ピーターソン
関連企業間取引の二重課税回避のための仲裁手続に関する欧州連合多国間協定
—国際租税秩序のモデルとして— …………… ゲルト・ザス
租税政策・合意形成・紛争処理 …………… 増井 良啓
米国移転価格最終規制におけるCPMに対する一考察 …………… 藤枝 純
企業と事前確認制度（APA） …………… 保野裕治郎
国際移転価格の紛争解決方式のあり方—主報告へのコメントと問題点の指摘— …………… 川端 康之
トランスファー・プライシングについてのコメント …………… 岡村 忠生

国際シンポジウム 金融取引と国際課税

2001.11.24～25開催

2002年3月発行

- [基調講演]
金融と課税・国際課税 …………… 中里 実
- [セッションI 投資ファンドと国際課税] 司会：村井 正
- アメリカの経験 …………… エリック・N・ルース
ドイツ・ヨーロッパの経験 …………… アルベルト・J・レードラー
オーストリア・ヨーロッパの経験 …………… ザビーネ・キルヒマイヤー
韓国の経験 …………… 李 昌熙
日本の経験 …………… 増井 良啓
- [セッションII 金融資産と課税] 司会：村井 正
- 金融課税のあり方 …………… 水野 忠垣
信託 …………… 占部 裕典
年金 …………… 佐藤 英明
有価証券 …………… 岸田 雅雄

不動産投資信託 川端 康之

国際シンポジウム 証券取引規制の課題と日本法の転換

2002.5.22開催

2002年12月発行

エンロン事件から何を学ぶか ジョエル・セリグマン
日本法は転換期にあるのか? ジョン・ヘイリー
証券市場とその規制に対する信頼の確保 龍田 節

**The Academic Frontier Project of International Symposium
International Trade and Factor Mobility**

2003.7.1~2開催

英文版 2003年発行

Session 1

- 1-1 Lumpsum Versus Non-Lumpsum Redistribution : A Second Glance
..... Murray C. Kemp, Henry Y.Wan, Jr
- 1-2 Pareto Optimal Delegation in Customs Unions Mark Melatos, Alan D. Woodland
- 1-3 Endogenous Trading Bloc Formation in a North-South Global Economy Satya P. Das

Session 2

- 2-1-1 Conditional Policies in General Equilibrium : FTAs with ROOs Revisited Kala Krishna
- 2-1-2 Understanding Rules of Origin Kala Krishna
- 2-2 Economic Integration and Rules of Origin under International Oligopoly
..... Jota Ishikawa, Yoshihiro Mizoguchi, Hiroshi Mukunoki

Session 3

- 3-1 Foreign-owned versus Domestically-owned Firms : Economic Performance in Japan
..... Fukunari Kimura, Kozo Kiyota
- 3-2 Affiliate Activity in Japanese and U.S. Multinationals and Japanese
Exports, 1986-1995 Robert E. Lipsey, Eric D. Ramstetter
- 3-3 Exchange Rate Pass-through and Strategic Behavior in Japanese Imports of DRAMs
..... Katsumi Matsuura, Fumiko Takeda

Session 4

- 4-1 Expansion of Network Integrations : Two Scenarios, Trade Patterns, and Welfare
..... Noritsugu Nakanishi, Toru Kikuchi
- 4-2 On the Role of Communications Networks in Regional Economic Development Toru Kikuchi
- 4-3 Immigration and Remittance under Unionization Laixun Zhao, Kenji Kondoh
- 4-4 Lobbying for Administered Protection Yasukazu Ichino

Session 5

- 5-1 GLOBALIZATION, GLOBALISATION : Trade, Technology, and Wages Wilfred J. Ethier
- 5-2 International Trade and Agglomeration : An Alternative Framework
..... Ronald W. Jones, Henryk Kierzkowski
- 5-3 WTO as an International Institution to Give Moral Support Taiji Furusawa

Session 6

- 6-1 A Factor Endowment Theory of Endogenous Growth and International Trade
..... Yunfang Hu, Murray C. Kemp, Koji Shimomura
- 6-2 Tariff and Tax Reform : Dynamic Implications Takumi Naito
- 6-3 Market Structure and Trade Pattern in an Innovation-Imitation Model
..... Junko Doi, Kazuhiro Yamamoto, Takashi Shibata

Session 7

- 7-1 U.S. Interregional Migration and Trade Yutaka Horiba
- 7-2 Optimal R&D Policy and Endogenous Quality Choice Tsuyoshi Toshimitsu
- 7-3 Recycling and International Trade Theory Kazunori Tanigaki

Session 8

- 8-1 Intraindustry Trade, Intraindustry Investment, and Welfare Hsiu-Yi Chan, Kar-yiu Wong
 - 8-2 Trade in Exhaustible Resources and Strategic Development of Substitute Technology
..... Kaz Miyagiwa, Yuka Ohno
 - 8-3 On the Welfare Effects of Trade and Investment Liberalization
..... Peter Egger, Mario Larchy, Michael Pfaffermayr
- The Mundell-Fleming Model Revisited : A Microeconomics Michihiro Ohyama

国際シンポジウム 名護金融特区の現状と展望

2004.7. 3開催
2005.2.18開催

2005年3月発行

[名護金融特区の現状と展望 I] 司会：村井 正

- 名護市の金融センター構想 阪上 允博
- 金融特区税制・キャプティブ保険・PASDAQ構想 比嘉 盛樹、徳本 穰
- 名護金融特区とアジア債券市場構想—アジア共通通貨の突破口に— 近藤 健彦
- 名護金融特区：ビジネスモデルの可能性 大垣 尚司
- 銀行規制と市場規律 滝川 敏明
- アイルランドのIFSCはなぜ成功したか 村井 正

[名護金融特区の現状と展望 II]

- TAX COMPETITION : FROM DUBLIN DOCKS TO CCCTB Peter Schonewille

大津事件判決100周年記念刊行 危機としての大津事件

1991.5.14~15開催

1992年3月発行

[記念講演会] 司会：上林 良一

- 大津事件と児島惟謙 石尾 芳久
- 司法権の独立と児島惟謙 緒方 眞澄
- 児島惟謙と関西法律学校 藪田 香融

[記念シンポジウム] 司会：市原 靖久

大津事件の政治史的意味	三谷 太一郎
大津事件と被害者ニコライ	保田 孝一
大津事件と司法の危機	山中 敬一
コメント	緒方 眞澄、竹本 正幸

[記念展示]

展覧目録解説	市原 靖久
児島惟謙と関西大学展を観て	藤井 咲江、堀田 剛、前田 幸子

[大津事件判決100周年記念行事開催によせて]

曾祖父児島惟謙のこと	児島 惟富
その「直後」	穂積 重行
伊達家・児島惟謙・穂積陳重	河野 傳
小説「惟謙記」おぼえがき	小川 悟
関西大学と大津事件	市原 靖久

児島惟謙 大津事件手記 (山川雄巳 編注)

2003年 5月発行
〔関西大学出版部〕

露国皇太子「ニコラス」親王殿下大津御遭難顛末録

明治廿四年五月十一日滋賀県大津ニ於テ露国皇太子遭難ニ付

法律上所分ニ対スル日記摘録(大津事件原稿)

山川雄巳、市川訓敏、市原靖久、竹下 賢

関西大学法学研究所『研究叢書』刊行案内

号	タイトル	著者	刊行年
第1冊	司法省法学校におけるボアソナードの講義に関する研究	石尾 芳久、岡 徹、千藤 洋三、市原 靖久	1989
第2冊	借地・借家制度の検証 —意向調査の分析と法改正の方向—	月岡 利男、千藤 洋三、高森八四郎、澤井 裕、永田眞三郎、早川眞一郎、國府 剛	1989
第3冊	ナチス法の思想と現実	竹下 賢、フベルト・ロットロイトナー、赤松 秀岳、佐野 誠、山中 敬一、大塚 忠、吉田 栄司	1989
第4冊	大阪市行政の人と組織	間 登志夫、横田 茂、坂本 勝、孝忠 延夫、山本 慶介、眞鍋 俊二	1990
第5冊	新しい都市イメージへの展望 —大阪市を中心として—	山本 慶介、孝忠 延夫、横田 茂、坂本 勝	1991
第6冊	民衆の司法参加の可能性と限界 —弁護士意識調査の分析—	森井 暲、高瀬 武典、市原 靖久、國府 剛、佐藤 美樹、園田 寿	1992
第7冊	EC統合とEC法の展開	村井 正、田中 素香、滝川 敏明、大和 正史、カール・ハインツ・ピルニー、ピエール・ペスカトル、若田 恭二、小林 恭一	1992
第8冊	民衆の司法参加をめぐる諸問題	森井 暲、高瀬 武典、岡 徹、市原 靖久、佐藤 美樹、山名 京子	1993
第9冊	法学教育とコンピュータ	園田 寿、栗田 隆、亀田 健二、江澤 義典、多治川卓朗	1993
第10冊	EC統合から欧州連合への展望	村井 正、大和 正史、辰巳 浅嗣、楠 貞義、若田 恭二	1993
第11冊	法学教育におけるコンピュータの利用	栗田 隆、亀田 健二、隈元 昭、裕 武史、江澤 義典、多治川卓朗、園田 寿	1995
第12冊	EC法と欧州連合の現状	大和 正史、野一色 勲、田中 裕明、楠 貞義、良永 康平、辰巳 浅嗣	1996
第13冊	企業法務の機能と組織	飯村 佳夫、高瀬 武典、永田眞三郎、廣田 俊郎、福瀧 博之	1996
第14冊	児島惟謙の航跡	市川 訓敏、市原 靖久、吉田 栄司	1996
第15冊	知的財産の法的保護	栗田 隆、野一色 勲、加藤 敏幸、齋藤 彰、早川 徹	1997
第16冊	高齢者の権利保護をめぐる諸問題 —成年後見制度を考える—	松原 一郎、飯田 紀彦、月岡 利男、國府 剛、千藤 洋三、渡邊 幹典	1998
第17冊	企業法務の実態と課題	永田眞三郎、飯村 佳夫、高瀬 武典、廣田 俊郎、福瀧 博之、大和 正史	1998
第18冊	続・児島惟謙の航跡	市川 訓敏、市原 靖久、竹下 賢、吉田 栄司、大西 嘉彦	1998
第19冊	成年障害者の支援システム	井上 澄江、飯田 紀彦、小橋 紀之、松原 一郎、國府 剛、渡邊 幹典、月岡 利男、千藤 洋三	1999

号	タイトル	著者	刊行年
第20冊	知的財産の法的保護 II	野一色 勲、齋藤 彰、早川 徹、 栗田 隆	2000
第21冊	OECDモデル租税条約は国際租税法の 紛争解決規範となりうるか	谷口勢津夫、岸田 雅雄、浦東 久男、 村井 正、鶴田 廣巳	2000
第22冊	企業法務をめぐる環境変化と組織	永田眞三郎、飯村 佳夫、高瀬 武典、 廣田 俊郎、福瀧 博之、大和 正史	2001
第23冊	成年後見から権利擁護へ	飯田 紀彦、松原 一郎、井上 澄江、 渡邊 幹典、月岡 利男、國府 剛、 千藤 洋三	2001
第24冊	アジア法文化と国民国家 —固有法と移入法の相克と共生—	今西 康人、孝忠 延夫、羽原 敬二、 丸茂 弘幸、四本 健二	2002
第25冊	OECDモデル租税条約における若干の 問題	村井 正、鶴田 廣巳、谷口勢津夫、 岸田 雅雄、浦東 久男	2002
第26冊	東アジアにおける政府と企業	小林 弘二、木村 幹、佐々木信彰、 唐 亮	2002
第27冊	大都市圏における選挙・政党・政策 —大阪都市圏を中心に—	森本 哲郎、土倉 莞爾、名取 良太、 松並 潤、村上 弘	2004
第28冊	マンションの法と管理	高森八四郎、月岡 利男、伊室亜希子、 馬場 昌子、平田 陽子、関根 幹雄	2004
第29冊	アジア法文化と国民国家II	今西 康人、孝忠 延夫、四本 健二、 羽原 敬二、丸茂 弘幸	2004
第30冊	国際協力の時代の国際法	坂元 茂樹、薬師寺公夫、藤田 久一、 濱本正太郎	2004
第31冊	日韓法政システムの多様性と共通性	金 泓 均、竹下 賢、亀田 健二、 趙 泰 濟、池田 敏雄、李 元 雨、 小泉 良幸、朴 鍾 普、 大津留(北川)智恵子、陰 善 澤、 上田 真二、張 根 榮、大和 正史、 諸 哲 雄、葛原 力三、佐藤やよひ、 鄭 圭 源	2005
第32冊	大都市圏における選挙・政党・政策 (続) —大阪都市圏を中心に—	森本 哲郎、土倉 莞爾、名取 良太、 松並 潤、村上 弘、小西 秀樹、 石橋章市朗	2006
第33冊	区分所有物の法的課題	月岡 利男、関根 幹雄、伊室亜希子、 土居 俊平	2006
第34冊	アジアのマイノリティと法I	孝忠 延夫、浅野 宜之、四本 健二、 西澤希久男、宇田川幸則、市原 靖久、 ハスエリドン、國分 典子、熊谷 明泰、 吉田 徳夫、M.カマル・ゲイ	2006
第35冊	循環型社会の環境政策と法	池田 敏雄、後藤 元伸、和田 安彦、 磯村 篤範、佐伯 彰洋、黒坂 則子	2006
第36冊	アジアのマイノリティと法II	孝忠 延夫、浅野 宜之、四本 健二、 西澤希久男、宇田川幸則、國分 典子、 吉田 徳夫	2007

関西大学法学研究所『ノモス』刊行案内

____は、司会を示す。

●創刊号 1990年発行

『ノモス』創刊の辞 山川雄巳

【シンポジウム】

第1回 法の進化と近代化 上山安敏、楊震宇、市原靖久、金 英、上林良一

第2回 法学の教育と研究 園田 寿、多田晶彦、永田眞三郎、平田友三、岩崎憲次

第3回 陪審制の可能性と限界 篠倉 満、シルヴィア・ブラウン浜野、樺島正法、森井 暉

【現代法セミナー】

第1回 国際取引の諸問題 藤田久一、早川眞一郎、大和正史、石田健一

【公開講座】

〔第1回 夫婦の日常家事行為の法律問題—サラ金問題に関連して— 高森八四郎〕

第2回 消費税実施 村井 正

【特別研究会】

第1回 パソコン通信と法学教育 園田 寿、栗田 隆、永田眞三郎、山本慶介

【研究ノート】

東欧への断想—ポーランド刑法学者事情異聞— 山中敬一

日本企業の異文化コミュニケーション—イギリスにおける在外研究をふりかえって— ... 若田恭二

●第2号 1991年

児島惟謙の関西法律学校講師・校主・幹事宛書簡について 山川雄巳

【シンポジウム】

第4回 選挙制度の評価基準...伊藤光利、バーナード・グロフマン、三宅一郎、森脇俊雅、上林良一

第5回 社会科学とコンピュータ 吉信 肅、山本慶介、岡部孝好、栗田 隆

【現代法セミナー】

第2回 借地・借家法の諸問題 月岡利男、國府 剛、澤井 裕

第3回 地価対策の現状と課題 池田敏雄、安良哲夫、上田惟一、上林良一

【公開講座】

第3回 日本の法秩序を考える 棚瀬孝雄、岩崎憲次

第4回 ヨーロッパ株式会社とは何か 大和正史、岩崎憲次

【特別研究会】

第2回 ドイツ統一をめぐる諸問題 ハンス・ヨアヒム・ヒルシュ、山中敬一、村井 正

第3回 第2次世界大戦後におけるアメリカ政党制の再編成について
..... リチャード・G・ニーミ、若田恭二、間登志夫

第4回 胚子の刑法上の保護—新ドイツ胚子保護法に関する比較法的覚書—
統一ドイツにおける刑法の調整 アルビン・エーザー、山中敬一、上田健二

【総合研究会】

第3回 EC1992年 村井 正

陪審制の光と影 森井 暉

【研究ノート】

法学と法律学—バルヴェーク教授のレトリック法理論— 福瀧博之

フランス信託法草案について 早川眞一郎

マンモスとハーケンクロイツ—オーバーバイエルンのナチズム— 竹下 賢

●第3号 1992年

プラトンの哲学者資質論 山川雄巳

【シンポジウム】

第6回 法適用における論証 ウルフリット・ノイマン、植松秀雄、松浦好治、亀本 洋、
山中敬一、平井亮輔、竹下 賢

第7回 ソ連邦の崩壊 木村 汎、木戸 蓊、小泉義勝、平井友義、眞鍋俊二、上林良一

【現代法セミナー】

第4回 平成2年改正会社法の諸問題 菱田政宏、家近正直、國澤隆雄、大和正史、岩崎憲次

第5回 EC統合と日本企業 田中素香、滝川敏明、長縄友明、池永武之、大和正史、
良永康平、村井 正

【公開講座】

第5回 今なぜ営業秘密・ノウハウの保護が必要なのか

—適正な情報取引慣行の確立のために— 野一色 勲、岸井貞男

第6回 地方自治を語る—吹田市政20年をふりかえって— 榎原一夫、池田敏雄

【特別研究会】

第5回 儀式としての革命—ナチズムの神話— クラウス・フォン・ドゥング、宇佐美幸彦、
葛原力三、竹下 賢

第6回 福祉国家と欧州統合 ペーター・フローラ、一圓光彌、村井 正

【総合研究会】

第5回 最近の人工知能研究について 江澤義典
陪審法制に関する近畿弁護士会連合会所属弁護士に対するアンケート調査の分析 ... 高瀬武典

第6回 イギリスの陪審制について 森井 暉
Town's GEAR を使った刑法教材について 園田 寿
2年制ゼミでの情報機器の利用 栗田 隆

【研究ノート】

ドイツ「法情報学」の動向 永田眞三郎

国民保健機構の行方—1992年英国総選挙の争点— 山本慶介

●第4号 1993年

利休と思想信条の自由 山川雄巳

【シンポジウム】

第8回 法情報とファジィ論理 ロター・フィリップス、加賀山 茂、江澤義典、
永田眞三郎、栗田 隆、山中敬一、園田 寿

第9回 わが国の市場は閉鎖的か 根岸 哲、田中茂和、石川 正、大和正史、村井 正

【現代法セミナー】

第6回 民事訴訟法改正の諸問題 清水正憲、松本博之、上野泰男、高島義郎、岡 徹

第7回 製造物と企業の責任 松本恒雄、小野輝治、大深忠延、澤井 裕、永田眞三郎

【公開講座】

第7回 比較政治からみた日本の警察 辻中 豊、森井 暉

第8回 英米における選挙区再編成 森脇俊雅、上林良一

【特別研究会】

第7回 日独可罰的違法性論の課題と展望 ハンス＝ルートヴィヒ・ギュンター、
米田泰邦、葛原力三、山中敬一

第8回 ドイツ環境法の諸手段 ミヒヤエル・クレプファー、吉田栄司、竹下 賢

【総合研究会】

第8回 スペインのヨーロッパ(EC)化について 楠 貞義

【研究ノート】

ドイツの新銀行普通取引約款について 早川 徹

●第5号 1994年

法学研究所と国際交流 村井 正

【シンポジウム】

第10回 医療紛争処理システムのあり方 … 植木 哲、古村節男、本井 巽、加藤良夫、永田眞三郎

第11回 移転価格をめぐる理論と実際 藤枝 純、増井良啓、川端康之、村井 正

【現代法セミナー】

第8回 中国における合弁企業の法的諸問題 清河雅孝、古林恒雄、塚本宏明、
三戸俊英、福瀧博之

第9回 現代まちづくり法の問題点と課題 芦田英機、大久保昌一、坂和章平、
伊藤明子、池田敏雄、山川雄巳

【公開講座】

第9回 企業活動の国際化—涉外弁護士の経験を語る— 石川 正、大和正史

第10回 夫婦の氏—民法の改正に関連して— 水野紀子、千藤洋三

【特別研究会】

第9回 競争政策と産業政策—ヨーロッパと日本— スティーヴン・ウィルクス、廣田俊郎、
山川雄巳

第10回 法とレトリック教育の理論的諸前提 … オットマー・バルヴェーク、竹下 賢、福瀧博之

第11回 アメリカ合衆国における法人税・所得税統合の動き
—国際的側面を中心として— ジョン・K. マックナルティ、岡村忠生、村井 正

【総合研究会】

第11回 E D I (データ交換取引) 永田眞三郎

第13回 租税摩擦から国際租税秩序へ 村井 正

●第6号 1995年

歴史的瞬間を目撃しそなた話 村井 正

【シンポジウム】

第12回 日米関係の展望 黒田安昌、片原栄一、山本繁緯、若田恭二、近藤重克、
エリック・D. ラムステッター、山川雄巳

第13回 高齢化社会と税制 林 宜嗣、八田達夫、一圓光彌、橋本恭之、川端康之、村井 正

第14回 鄧小平後の中国の政治と経済—中央と地方の関係を中心に— 小林弘二、矢吹 晋、
高橋伸夫、石田 浩

【現代法セミナー】

第10回 公正証書遺言をめぐる課題 中川臣朗、伊藤昌司、月岡利男、國府 剛、千藤洋三

【公開講座】

第11回 製品事故訴訟とPL法 児玉憲夫、永田眞三郎

第12回 婚姻法・離婚法の改正をめぐって 久貴忠彦、千藤洋三

【特別研究会】

第11回 合衆国における法人所得税改革についての諸提案の国際的側面
—法人及び個人所得税の統合— ジョン・K. マクナルティ、岡村忠生、村井 正

第12回 客観的帰属論 クラウス・ロクシン、山中敬一、森井 暉

第13回 地方政治の現状と課題 森脇俊雅、孝忠延夫、上田惟一、若田恭二

第14回 私法秩序における争議行為 … エドゥアルト・ピッカー、大沼邦博、米津孝司、大和正史

【総合研究会】

- 第14回 児島惟謙の法思想 緒方眞澄
第15回 インターネットについて 江澤義典

【研究ノート】

- 国連機関における意志決定—UNCITRALの場合を中心として— 曾野和明
中国社会科学院訪問記 山川雄巳
「三国志」の風土と思想—中国の三都市を訪問して— 竹下 賢
ドイツ刑法学会を訪ねて 山中敬一

●第7号 1996年

- エルンスト・フォレストホフ—その光と影— 村井 正

【シンポジウム】

- 第15回 オーストリア刑事法の現状と課題
..... マンフレート・ブルクスタラー、フランク・ヘプフェル、
葛原力三、山名京子、山中敬一、森井 暉
第16回 21世紀に向けた医療改革の課題—日本とドイツの比較を中心—to
..... ウルリッヒ・ローマン、一圓光彌、松本勝明、岡崎 昭、本澤巳代子、斎藤 彰、
植木 哲

【現代法セミナー】

- 第11回 阪神・淡路大震災とマンション建て替えの法律問題 … 丸山英気、北川善太郎、鈴木映男、
月岡利男
第12回 地方分権の現状と将来展望 …… 塩野 宏、峰岸郁夫、宇田 裕、橋爪竹一郎、池田敏雄

【公開講座】

- 第13回 阪神・淡路大震災と建築基準法 山田 稔、村井 正
第14回 成年後見制度と意思能力—精神医学の立場から— 飯田紀彦、國府 剛

【特別研究会】

- 第15回 日米経済摩擦について 窪田 明、山本繁綽、若田恭二、山川雄巳
第16回 中国政治体制改革と中国政治学研究 白 鋼、包承柯、山川雄巳
第17回 コンピュータ・ネットワーク通信の法的構造 鈴木 實、池田敏雄
第18回 Recent Changes of Tax Rules in Transfer Pricing
..... ラッセル・K. オズグッド、小田 博、川端康之、村井 正

【国際フォーラム】

- 第1回 開発途上国の経済成長と日本の役割
..... 大西正曹、エリック・D. ラムステッター、小西俊二郎、前田正宏、浦上奈々、
畑知也子、村井 正

【総合研究会】

- 第17回 コンピュータ・アニメーションの著作者と著作権の範囲 栗田 隆
第18回 成年後見制度をめぐる諸問題 國府 剛

【研究ノート】

- レーヴェン・カトリック大学での在外研究 市原靖久
法学研究所での5年間を振り返って 畠山勝代

●第8号 1997年

- 研究室空間の変貌 山川雄巳

【シンポジウム】

- 第17回 公共政策研究の可能性 …………… 足立幸男、飯尾 潤、岸本哲也、森脇俊雅、山川雄巳
第18回 阪神・淡路大震災の教訓 …………… ジョージ・ホーウィッチ、足立幸男、鈴木正裕、
塩沢由典、山川雄巳
第19回 日韓租税条約の問題点について …………… 李昌熙、前田正宏、小西俊二郎、村井 正

【現代法セミナー】

- 第13回 マルチメディア時代の著作権法 …………… 阿部浩二、名和小太郎、奥邨弘司、
野一色 勲、栗田 隆

【公開講座】

- 第15回 江藤新平の司法改革をめぐる …………… 毛利敏彦、市川訓敏
第16回 電子商取引（EC）時代と情報事故 …………… 大谷和子、永田眞三郎

【特別研究会】

- 第19回 EU環境法の基本問題 …………… ミヒヤエル・クレプファー、植木 哲、竹下 賢
第20回 1990年韓国家族法改正の成果と問題点 …………… 申榮鎬、林 範夫、國府 剛
第21回 ドイツにおける錯誤論の発展と現状
…………… ヴォルフガング・フリッシュ、葛原力三、川口浩一、山中敬一
第22回 ドイツにおける親子法改正の問題
…………… ライナー・フランク、床谷文雄、本澤巳代子、國府 剛

【研究懇談会】

- 韓国の現行法制の成立と司法改革の動向 …………… 申榮鎬、尹京哲、國府 剛

【総合研究会】

- 第20回 継続的取引に関する企業法務の実態—アンケート調査に基づいて— …………… 高瀬武典
第21回 児島惟謙と江藤新平 …………… 竹下 賢

【研究ノート】

- 中国社会科学院再訪記 …………… 山川雄巳
五代友厚と児島惟謙 …………… 市川訓敏

●第9号 1998年

- 神戸ルミナリエ …………… 山川雄巳

【シンポジウム】

- 第20回 韓国および日本における法改正の動向
…………… 池田敏雄、金永煥、尹宣熙、村井 正、李哲松、大和正史、岩崎憲次、國府 剛、
鄭東鎬、千藤洋三、上野泰男、今西康人、呉英根、山中敬一、森井 暉
第21回 研究所の役割 …………… 山本有造、池田敏雄、飯田泰三、椎橋隆幸、村井 正、
加藤一明、児玉憲夫、多田晶彦、眞鍋俊二、大沼邦博
第22回 21世紀における社会と自己—近代はどこへ行くのか?—
…………… 田口富久治、野口裕二、深井慈子、柏岡富英、若田恭二

【現代法セミナー】

- 第14回 香港返還後の中国 …………… 包承柯、中西輝政、古林恒雄、宇田川幸則、竹下 賢
第15回 情報公開制度の定着にむけて …………… 堀部政男、松井茂記、棟居快行、石川 正、池田敏雄

【公開講座】

- 第17回 消費者破産について …………… 尾崎博彦、栗田 隆
第18回 欧州連合—新時代の課題— …………… ヨルン・ケック、村井 正

【特別研究会】

- 第23回 中国における国家賠償制度の現状と課題 …………… 胡建淼、謝 黎、池田敏雄
第24回 ポストモダン社会における環境刑法の基本的意義 …………… ベルト・シューネマン、

葛原力三、山中敬一

- 第25回 人間あつての法?—自然・環境・医療の交錯の中で— …… 矢崎光圀、竹下 賢
第26回 租税回避—韓国法の視点から— …… 安慶峰、高榮洙、村井 正

【総合研究会】

- 第23回 著作権に対する金銭執行—比較法的考察— …… 栗田 隆、山川雄巳
第24回 環境税 …… 村井 正、山川雄巳

【研究ノート】

- スコットランド・アバディーン大学での在外研究 …… 齋藤 彰

●第10号 1999年

- 頼山陽の書齋・山紫水明処 …… 山川雄巳

【シンポジウム】

- 第23回 合理的選択論と実証的政治分析
…………… 待鳥聡史、加藤淳子、鈴木基史、久米郁男、建林正彦
第24回 金融ビッグバンと法 …… 岸田雅雄、洲崎博史、碩 省三、早川 徹

【現代法セミナー】

- 第16回 金融ビッグバンと法 …… 堀江康熙、山下孝之、上田昭三、早川 徹、池田敏雄
第17回 これからの働き方のルール—労基法改正と労使関係の行方—
…………… 毛塚勝利、安枝英紳、浦 功、益田哲生、大沼邦博

【公開講座】

- 第19回 電子商取引の課税問題 …… 増井良啓、村井 正
第20回 高齢社会と成年後見制度 …… 松原一郎、國府 剛

【特別研究会】

- 第27回 政治意識の現況—最近の二つの調査から— …… 三宅一郎、山川雄巳
第28回 旧ユーゴ・スロヴェニアの法体系と法文化
…………… マリヤン・パウチュニック、前嶋 匠、葛原力三、竹下 賢
第29回 トルコから見たイスラム社会とファンダメンタリズム
…………… アフメット・メテ・トゥンジョク、若田恭二、市川訓敏
第30回 デジタル署名技術の展開—電子取引の認証から電子有価証券まで—
…………… 岩村 充、永田眞三郎

【総合研究会】

- 第26回 「成年後見制度の改正に関する要綱試案」について …… 國府 剛
第27回 経済・社会システムの構造・生成・進化に関わる法と技術 …… 廣田俊郎

【研究ノート】

- 上海三大学法学院訪問記 …… 山川雄巳

●第11号 2000年

- 一休の遺偈 …… 山川雄巳

【シンポジウム】

- 第26回 韓国・日本における法律学・政治学の現代的諸問題（国際研究交流シンポジウム）
…………… 韓忠洙、金鐘鐵、孝忠延夫、金善権、呉英根、葛原力三、大木裕美子、趙誠民、
今西康人、金文淑、金相圭、岩崎憲次、卓美淑、齋藤 彰、文南敏、金泓均、
亀田健二、林光周、山中敬一、池元林、永田眞三郎、李炯珪、大和正史、
土倉莞爾、咸同奎

- 第25回 ヨーロッパ政治の動向

- …………… 土倉莞爾、吉田栄司、梅津 實、村田尚紀、依田 博、山川雄巳
 第27回 ポーランドにおける刑事新立法
 …………… アンドレイ・シュヴァルツ、エミール・プリヴァチェフスキー、
 中山研一、西原春夫、葛原力三、園田 寿

【現代法セミナー】

- 第18回 高齢者の権利擁護—新しい成年後見制度をめぐって—
 …………… 國府 剛、池田直樹、折田忠温、野村龍太郎、千藤洋三、松原一郎、飯田紀彦、
月岡利男
 第19回 中央省庁の再編と今後の課題 …… 藤田宙靖、村松岐夫、橋本信之、亀田健二、吉田栄司、
池田敏雄

【公開講座】

- 第21回 中国の対日態度と周辺事態法 …………… 高原明生、小林弘二
 第22回 毛沢東と鄧小平—中国の法治国家へいたる苦悩の道— …… 郭道暉、鈴木 賢、今西康人

【特別研究会】

- 第31回 情報政策—パタナリズム型、市場主導型およびインターネット型
 …………… 名和小太郎、永田眞三郎
 第32回 ポストモダニズムの政治概念 …………… 小野紀明、若田恭二
 第33回 リベラリズムの未来像 …………… フランシス・フクヤマ、アンナ・G. レヴィン、市原靖久
 第34回 変革期の中国政府と企業 …………… 徐湘林、李 暢、小林弘二

【総合研究会】

- 第29回 人権の裁判的保障の制度と現実—インドにおける社会活動訴訟などを手がかりとして—
 …………… 孝忠延夫
 第30回 中国における脱社会主義体制改革 …………… 小林弘二

●第12号 2001年

- 大学の役割、研究所の役割 …………… 若田恭二

【シンポジウム】

- 第28回 多様化する法人 …… 村田尚紀、後藤元伸、植松守雄、村井 正、高森八四郎、今西康人
 第29回 オランダにおける金融取引課税—Beleggingsinstelling を中心として—
 …………… ケイス・バン・ラート、一高龍司、増井良啓、宮本十至子、村井 正

【公開講座】

- 第23回 21世紀への司法改革—私の弁護士としての経験と関連して— …… 児玉憲夫、永田眞三郎
 第24回 高齢者と相続問題—相続預貯金の払戻し請求を中心として— …… 千藤洋三、國府 剛

【現代法セミナー】

- 第20回 外形標準課税を考える
 …………… 浅沼潤三郎、前川聡子、松室 猛、占部裕典、林 宏昭、村井 正
 第21回 成年後見から権利擁護へ …………… 飯田紀彦、井上澄江、渡邊幹典、松原一郎、畑 律江、
月岡利男、國府 剛

【特別研究会】

- 第35回 アジア開発銀行と国際金融 …………… 佐藤光夫、村井 正
 第36回 政策分析と文化的バイアス …………… イリス・ゲヴァ＝メイ、足立幸男、山川雄巳
 第37回 臓器移植—刑法上の基本的諸問題— …………… クルト・ゼールマン、葛原力三、山中敬一
 第38回 情報公開、監査制度と地方自治—外部監査制度を中心に— …… 山中永之佑、市川訓敏

【総合研究会】

- 第32回 OECDの Harmful tax competition 報告について …………… 村井 正、山川雄巳
 第33回 新成年後見制度—希望と失望— …………… 月岡利男、山川雄巳

●第13号 2002年

山川先生を偲ぶ 若田恭二

【児島惟謙館竣工記念講演会】

現代日本を考える—私の現場から— 中坊公平、山川雄巳

制度改革と司法の独立性 児玉憲夫

【シンポジウム】

第30回 企業組織再編成をめぐる法と税制

..... 大和正史、水野忠恒、岸田雅雄、渡辺徹也、村井 正

第31回 加藤法哲学の現代的射程 田中成明、青井秀夫、植松秀雄、竹下 賢、山川雄巳

【公開講座】

第25回 面白法律学の勧め—鷗外の恋人エリスを手掛かりに— 植木 哲、高森八四郎

第26回 カンボジア和平この10年の歩み—法整備と法学教育の現状と課題—

..... ユオック・ンゴイ、四本健二、今西康人

【現代法セミナー】

第22回 金融ビッグバンを点検する 滝川敏明、広田真人、松尾順介、村井 正、山川雄巳

第23回 四万十川と流域圏構想

..... 福留脩文、澤良木庄一、亀山 忠、西内燦夫、池田敏雄、竹下 賢

【特別研究会】

第39回 「中華人民共和国婚姻法（修正草案）」について ... 郭潔敏、潘軒昂、國府 剛、今西康人

第40回 ドイツおよびスイスにおける被害者学の展開と現状

..... イエルク・マルティン・イエーレ、カール・ルートヴィヒ・クンツ、山中敬一、

葛原力三

第41回 承継的共犯? クルト・シェモラー、山中敬一、葛原力三

第42回 韓国併合条約無効説と国際法—条約の形式と締結手続きについて—

..... 海野福寿、坂元茂樹

【総合研究会】

第36回 児島惟謙手記研究会について 山川雄巳、若田恭二

【国際研究交流シンポジウム】

高度情報通信技術がもたらす制度改革 ... 竹下 賢、呉英根、金鐘鐵、李元雨、岡 克彦、池元林、

齋藤 彰、崔秉文、園田 寿、趙泰濟、亀田健二、

李炯珪、姜昃偶、安部誠治、朴秀根、尹宣熙、丸茂弘幸、

李徳煥

●第14号 2003年

新しい「ノモス」の誕生に向けて 若田恭二

【シンポジウム】

第32回 アルトゥール・カウフマンの刑法哲学

..... 宮澤浩一、劉幸義、Lothar Philipps、上田健二、西野基継、朴松燦、山中敬一、

竹下 賢

【公開講座】

第27回 ゲノム情報はだれのものか—特許をめぐる— 名和小太郎、竹下 賢

第28回 政治家という仕事 愛知和男、森本哲郎

【現代法セミナー】

第24回 地球村—21世紀における国際組織の役割— 入江 昭、眞鍋俊二、陶 徳民

第25回 文明の衝突から対話へ—アジアの宗教から考える— 陶 徳民、加地伸行、澤井義次、

小田淑子、竹下 賢

【特別研究会】

- 第43回 ヨーロッパ・アイデンティティの形成とヨーロッパ統合
..... ロベール・フランク、廣田 功、森本哲郎
- 第44回 グローバリゼーションとアメリカ化
—アメリカ型民主主義の輸出、又は米国国益の置き換え— ... セルジオ・ファブリーニ、
大津留(北川)智恵子
- 第45回 中国の政治的展開と日本との関係 王新生、愛知和男、竹下 賢

【総合研究会】

- 第40回 名護市金融特区について 村井 正

【関西大学法工連携公開講演会】

- 知的財産セミナー 若田恭二、岩見和彦、南 孝一、大場謙吉、辰巳直彦、
中江 邦、田中久仁雄、滝川敏明、栗田 隆

●第15号 2004年12月

【論説】

- アジアの平和—その思想的基底 山室信一
- 東アジアの平和とナショナリズム—ナショナリズムの底流と克服— 馬 暁華
- 河川環境行政の推進とパートナーシップ 山村恒年
- 淀川水系流域委員会の活動と今後の課題 川上 聰^{あきら}
- 穂積陳重と比較法学 石部雅亮
- 国際刑法の国内法化について Gerhard Werle (翻訳: 葛原力三)
- Die subjektive Tatseite Günther Jakobs

【資料】

- 選挙と政党政治の変動—有権者の行動をどう理解するか— 森本哲郎

【公開講座】

- 第29回 新しいドイツの外交政策 ヨハネス・プライジンガー

【現代法セミナー】

- 第27回 『無痛文明』の時代を考える 森岡正博

【法学研究所・東西学術研究所公開講座】

- 東西の出会い、緊張、そして融合—イスラームの『平和』とイラク—
西アジア、イスラーム、そして「イラク」 新谷英治
- イラク戦後の占領統治の諸問題 酒井啓子
- イラク戦争の考察にあたって ウリケル・B・ボアチ

【総合研究会】

- 第41回 循環型社会づくりと不法投棄防止に向けて 和田安彦

【自己点検・評価報告】

- 所長の意見
関西大学法学研究所 自己点検・評価報告書 (2001年度-2002年度)

●第16号 2005年6月

【論説】

- ポーランドにおける汚職と組織犯罪 エーミル・プリュヴァチェフスキー (翻訳: 山中敬一)
- 大津事件考—供述調書等からみた犯行の動機— 鎌倉利行
- インドの地方選挙における欠格事由 浅野宜之
- フィンランド刑法における近時の発展 ライモ・ラハティ (翻訳: 一原亜貴子)

War, Politics, and the U.S. Constitution Today Stuart Streicher
地域金融機関と企業取引 堀江康熙

【現代法セミナー】

第28回 後期高等教育における法学・政治教育のありかた—公共政策系大学院の可能性—
..... 縣 公一郎

●第17号 2005年12月

【論説】

ヨーロッパ諸国における投票棄権者の増加—民主主義の将来とは？—
..... アンヌ・ミュクセル（翻訳：友谷 知己）
ヨーロッパにおける極右とポピュリズム パスカル・ペリノー（翻訳：土倉莞爾・大久保朝憲）
浅談中国居住権制度 其木 提
地方分権改革下の都市計画—自治的管理型と積極的市場型— 北原鉄也
都市計画と制度・経済・政治：都道府県データの計量分析 曾我謙悟
日本の都市政策の特徴、発展、課題について 村上 弘
EU統合と市民 田中俊郎
欧州統合における非対称性問題と欧州憲法条約 庄司克宏
EUガヴァナンスと欧州憲法条約 山下英次

●第18号 2006年6月

【論説】

日本の総合交通体系における鉄道の役割と課題 天野光三
鉄道事故の現状と安全確保のための制度 安部誠治
信楽列車事故の教訓と鉄道事故調査 佐藤健宗
1997年改正以降の中国刑法の状態と傾向 トーマス・リヒター（翻訳：葛原力三）
中国刑法における「反革命の罪」から「国家の安全に危害を加える罪」への改正の意味
—「反革命目的」の削除を手がかりに— 坂口一成
刑法解釈学の方法論的問題としての「原因において自由な行為」
..... ウルフリット・ノイマン（翻訳：葛原力三）
グローバル化された法世界における世界主義
..... ウルフリット・ノイマン（翻訳：佐伯和也・前嶋 匠）
中日関係発展に関する一考察—中日両国は協力して、共に勝者になる— 孫 新
電子公証制度の現状と問題点 木村哲也

【行事記録】

第32回公開講座 新しい会社法の要点と活用法 久保井一匡

【自己点検・評価報告】

所長の意見
関西大学法学研究所 自己点検・評価報告書（2003年度—2004年度）

●第19号 2006年12月

【論説】

空の安全—技術、政策、そして法— 羽原敬二
法規制による安全の枠を越えたヒューマンファクターの概念 佐久間秀武
東アジア共同体構想と日印関係 眞鍋俊二

スリランカの憲法問題	L.フェルナンド (翻訳: 浅野宜之)
行政とNPOの協働に関する理論	廣川嘉裕
妊娠中の女子少年に対する医療少年院における人工妊娠中絶	永田憲史